※令和４年度以降入学生用

学校番号	402

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校「新地理総合」（帝国書院）　「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「最新地理図表ＧＥＯ」（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地球儀やさまざまな地図の活用，観察や調査，統計・画像・文献などの地理情報の収集・選択・処理，諸資料の地理情報化や地図化などを通して空間的に広がる諸事象の規則性や傾向性を総合的に考察する。

２　学習の到達目標

a：知識及び技能
地理的諸事象や諸地域の特色，防災，地球的諸課題に対する取組について理解し，地図や地理情報システム(GIS)などの資料を用いて，様々な地理情報を分析する技能を身に付ける。
b：思考力、判断力、表現力等
地理的諸事象や特色を，基本的概念（空間・環境・地域）や歴史的背景などから多面的・多角的に考察し，地理的見方・考え方を身に付け，またそれらについて考察・分析したことを説明したり，議論したりすることができる。
c：学びに向かう力、人間性等
よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる諸課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養い，諸地域の多様性を尊重する大切さについての自覚を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○地理的諸事象や現代世界の諸地域の特色，諸地域で起こっている諸課題についてさまざまな角度から理解を深めることができる。 ○地域において社会生活を営むにあたって必要とされる基礎的知識や基本的概念（空間・環境・地域），地理的見方・考え方を身につけている。 ○持続可能な地域づくりのための自然災害への取り組みを考察し、防災についての知識・技能を身に着ける。	○地図化する過程を通じて地理的諸事象について資料などを活用してさまざまな角度から分析・考察・解釈し，そこから地理的概念や規則性（地理的見方・考え方）を見いだすことができる。 ○現代世界の諸地域の特色について歴史的背景との関わりから地誌的に考察・理解することにより、国際理解・国際協力について理解することができる。 ○持続可能な地域づくりについて身近な諸地域で生じている諸課題の現状について論理的に分析・解釈することができる。	○地図や地理情報システム(GIS)について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ○現代世界の諸地域の特色とそこにあらわれる課題について、自ら関心を持ち積極的に追及、解決しようとしている。 ○持続可能な地域づくりについて身近な諸地域で生じている諸課題を主体的に学習し、その内容・課題点を的確にまとめ発表することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	地理と地図情報システム	地図上の位置と時差 地図の役割と種類	a:日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に地図や地理情報システム（GIS）の有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 b:地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、活用の仕方など多面的・多角的に考察し、表現している。 c: さまざまな時代の地図の読図や現代の地理情報システムの活用を通じて、現代世界の地図に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出課題	提出課題 授業観察

※令和４年度以降入学生用

	結びつきを深める現代世界	現代世界の国家と領域 日本の領域 グローバル化する世界	a:現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。また、交通や通信の発達の状況や一体化の進行、地域差の拡大について諸資料を読み取りまとめる技能を身に付けている。それらを系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身に付けている。 b:現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し表現している。交通・通信や情報が一体化する一方で地域差も生じていることなどの課題を考察し表現している。 c:現代世界の地域構成について交通・通信や情報の発達にとも舞う一体化と地域差に対する関心と課題意識を高め、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を意欲的に追求し、解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出課題	提出課題 授業観察

※令和４年度以降入学生用

	生活文化の多様性と国際理解	生活文化の多様性 世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活 乾燥した大陸と太平洋の島々での生活―オセアニア モンスーンの影響を受ける地域での生活―東南アジア 世界の言語・宗教と人々の生活 イスラームと人々の生活のかかわり―中央アジア・西アジア・北アフリカ ヒンドゥー教と人々の生活のかかわり―インド 歴史的背景と人々の生活 移民の歴史と人々の生活の関わり―ラテンアメリカ 植民地支配の歴史と人々の生活の関わり―サハラ以南アフリカ 国家体制の変化と人々の生活の関わり―ロシア	a:世界の地形・気候を理解することによって、世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地形や気候などといった地理的環境に影響され、また地理的環境の変化によって変容することを具体的な地域の産業や生活文化と照らし合わせて理解している。 b:世界の人々の生活文化についてその生活文化がみられる場所の地形・気候などの地理的特徴や自然及び社会的条件との関わりに着目して、地理的条件がその地域の産業や生活文化・歴史的背景に及ぼした影響について多面的・多角的に考察し表現している。 c:生活文化の多様性と国際理解について、具体的な地域を設定し、その特色をとらえながら、その地域の生活文化の多様性が地理的・自然条件などに影響していることを主体的調査しに追求しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出課題	提出課題 授業観察 発表内容
後期		世界の産業と人々の生活 産業力が世界の生活文化に与える影響―アメリカ合衆国 経済成長による人々の生活の変化―東アジア 地域統合が人々の生活や産業に与える影響―ヨーロッパ				

※令和４年度以降入学生用

	地球的課題と国際協力	複雑に絡み合う地球的課題 地球環境問題 資源・エネルギー問題 人口問題 食料問題 都市・居住問題	a：世界各地にみられる多様な地球環境問題や資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、都市・居住問題などの概要と対策について理解し、その知識を身につけている。さらにその対策に関するデータなどの諸資料を適切に収集し、有用な情報を選択する技能を身に付けている。 b：　地球環境問題や資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、都市・居住問題などについて、地域の結びつきや持続可能な社会の実現などに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方法などを、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：　地球環境問題や資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、都市・居住問題などについて、具体的事例や考察を基に、環境問題に対する関心と課題意識を高め、それを意識的に追求し、捉えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出課題	提出課題 授業観察

※令和４年度以降入学生用

	自然環境と防災	日本の自然環境 地震・津波と防災 火山災害と防災 気象災害と防災	a:日本や世界各地でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害について具体的に理解し、地域の自然環境の特色と自然災害への対応を正しく理解する。ハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を取集し、読み取りまとめる地理的技能を身に付けている。 b:地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えなどを面的・多角的に考察し、表現している。 c:自然環境と防災について、さまざまな事例を自ら主体的に収集し、防災意識を高めるとともに家庭や地域といったさまざまな場面で積極的に防災対策に取り組める態度身に付ける。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出課題	提出課題 授業観察

※令和４年度以降入学生用

	生活圏の調査と地域の展望	生活圏の調査と地域の展望	a:地域調査の情報収集から発表までの方法や地形図や空中写真などの読図方法を理解する。地域調査に関するデータや地形図などに関する諸資料を適切に収集し、この中から有用な情報を選択し、これを基に、生活圏の地域調査について図表や発表資料などにまとめる。 b:地図の活用と地域調査について、地形図や資料を活用した地域調査を通じて、生活圏の地域的な特色や持続可能な地域づくりについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:地図の活用と地域調査について、直接的に調査できる地域を地形図などの地図を活用しながら、地域調査に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求し、捉えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出課題	提出課題 授業・観察 発表内容

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度